

## 第26回 多可町子ども・子育て会議 記録

日 時	令和4年5月23日（月） 15:00～16:45
場 所	多可町役場 特別会議室
参加者	<p>●委員</p> <p>出席：鈴木会長、仲田副会長  宮田委員、寺澤委員、足立陽委員、安武委員  足立德委員、高橋委員、清水谷委員、藤本委員  原委員、松田委員、藤原委員、岡本委員</p> <p>欠席：松本委員</p> <p>●事務局</p> <p>越川教育長  こども未来課：市位課長、秋山副課長、高橋</p>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 教育長あいさつ</li> <li>4. 委嘱状交付</li> <li>5. 自己紹介</li> <li>6. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和4年度多可町教育方針及び主要施策について</li> <li>2) 町内保育園部・幼稚園部在籍数について</li> <li>3) 放課後児童クラブ事業の利用状況について</li> <li>4) 公私連携による両キッズランドの運営状況について</li> <li>5) 令和4年度からの通園バス運行について</li> <li>6) 第2期子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しについて</li> <li>7) 産前産後ヘルパー派遣事業について</li> <li>8) ファミリー・サポート・センター事業の周知と会員増を図るには（その後）</li> </ol> </li> <li>7. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幼・小の連携をより一層すすめるために「幼保小の架け橋プログラム」について</li> </ol> </li> <li>8. その他</li> <li>9. 閉会</li> </ol>
資 料	・第26多可町子ども・子育て会議資料

## 1. 開会

### 【事務局】

皆様こんにちは。ただいまから「令和4年度第1回目、通算では第26回目の子ども・子育て会議」を開会させていただきます。事前にお送りしております「多可町子ども・子育て会議条例」にありますように委員の皆様の任期は2年となっており、今年度が2年目となります。継続いただいた委員様もおられますし、役員の交代により新たに委員としてお世話になる方もいらっしゃいます。また、昨年度の会議により、ご選出いただきました鈴木会長、仲田副会長のお二人には今年度も引き続きお世話になります。委員の皆様、今年度1年間お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

## 2. 会長あいさつ

### 【会長】

皆様こんにちは。会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。多可町の子ども・子育ての重要は方針を決める会議ですので、是非皆様のご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 3. 教育長あいさつ

### 【教育長】

皆様こんにちは。公私何かとご多用の中、会議のご案内をさせていただきましたところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃は保育・教育の充実、並びに子育て支援の充実にお力添えをいただいておりますことをこの場をおかりしましてお礼を申し上げます。ありがとうございます。今年度、多可町では多可町教育方針に基づき、就学前の教育、それから子育て支援について具体的に進めて参っているところです。これにつきまして課長の方から資料をもとに説明をさせていただきたいと思ひます。さて、新型コロナウイルス感染症も下げ止まりという状況で、ウイズコロナの生活が当分続きそうでございます。また、全国的に少子化の波が来ておりまして、昨年度この会議でご紹介させていただいて皆さん驚かれたんですが、一昨年度町内で生まれた子どもの数が66名と急激に少子化が進んでいるというのが現状でございます。このように子どもを取り巻く色々な環境を踏まえて、子育て支援を如何に進めていくか、これを審議していただく一番重要な会がこの子ども・子育て会議ということでございます。本日は去年から今年にかけての取組の報告と共に今、国の方で盛んに議論されています幼小の架け橋、幼小の連携につきまして皆さん方からご意見を頂戴したいと思っております。どうか限られた時間ですけれども忌憚のないご意見を頂戴いただきますことをご祈念申し上げまして、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

#### 4. 委嘱状交付

- － 委嘱状交付（代表受領） －

#### 5. 自己紹介

- － 委員名簿順に自己紹介 －

#### 6. 報告事項

##### 1) 令和4年度多可町教育方針及び主要施策について

【事務局】（別紙により説明）

【会長】

ありがとうございました。教育方針と施策についてご説明をいただきました。これにつきまして、ご質問やご意見はございますでしょうか。利用できるものが少しずつ増えているのかなという感じがしますけども、保護者の皆さんはこのような施策があったことをご存じだったでしょうか。

【委員】

このような会議に出ている、こんなことを言ったらなんなのですが、子育てはほぼ妻に任せていまして。別件で町のSDGsの会議に去年1年、出させていただきまして、こういう話をした思いがあります。特に「めざそう値」とかそれまでは知らなかったのですが、非常に良い試みだなと思いました。

【会長】

今回は県内で二つだけ選ばれたということでしたね。そういった積み上げによるものですね。

【委員】

初めて聞くこともあって、子どもをもっている親世代にうまく伝わるようにコマーシャルしていただけるとうれしいなと思いました。知っていたら利用を考えたとということもあると思うので。

【会長】

そうですね。もう少し分かり易くPRしてもらえればということですね。

【委員】

私も子育ては妻の方に任せていますので、幼稚園や学校のことを詳しく分からないのですが、たまに参加させてもらう「土曜チャレンジ」は子どもと親が連携しながら、子どもも喜んでいきますし、是非今後も続けていただきたいと思います。SDGsも聞いたことはありますが、具体的にどういうものなのかということを知っている人はまだまだ少ないと思いますので、そういうことも噛み砕いて分かり易く、町民にも理解できるようなPRをお願いしたいと思います。

【会長】

なかなか英語やカタカナなどでちょっと難しいかもしれませんね。これは広報などで皆さんご存じなのではないでしょうか。SDGsは。

【教育長】

一部では知られているのですが、この度、未来都市に選定されましたので、広報やたかテレビでも町民の皆様に分かり易くお伝えしていく予定です。

【会長】

子どもにも分かるようにたかテレビで何回かに分けてシリーズで紹介していただけたらうれしいなと思います。

【委員】

先ほどからもお話があるように色々な取組をされているのですが、自分も含めて理解が浸透していないように思います。たかテレビなどを利用して分かり易いものがあれば良いかなと思います。

【会長】

そういうことですので、テレビを観られる方、観られない方もおられるかも知れませんが、色々なチャンネルでPRしていただけたらと思います。

## 2) 町内保育園部・幼稚園部在籍数について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ありがとうございました。この件につきまして何かご意見やご質問はございますでしょうか。減っているところと、増えているところがあるということで、まずは出生数が増えてほしいということですね。切実な願いですね。

## 3) 放課後児童クラブ事業の利用状況について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

この件につきまして何かご意見やご質問はございますでしょうか。利用率は増えているけど、人数は減っているということですね。

## 4) 公私連携による両キッズランドの運営状況について

【事務局】

民間に移行してから、3年が経ちました。町からの職員派遣も終了し、初めて1年を迎えました。今回は委員として両キッズランドの園長先生にご参加いただいておりますので、一言ずつ状況報告をお願いしたいと思います。

## 【園長】

3年がなんとか終了いたしました。1年目、2年目は町のベテランの先生方に残っていただきまして、今までのことを継続するだけではなくて、民間園としてうまく移行できるように私どもの意見を尊重していただきましたので、町職員の方がおられなくなって心細い面もあったのですが、スムーズに移行でき去年1年間過ごさせていただきました。残っていただいた職員の方には上手に指導していただけたなと感謝しております。3年目で残っていた職員も少しずつ自信をつけて、こういうことがしたい、こういうことをやってみようと今までの継続だけではなく、自分たちの意見をもって職務をがんばってくれているなどありがたく思っております。また、コロナ禍のなかで色々な行事ができなかったり、縮小したりしてさみしい思いをしてみました。保護者の方も民間移行だけでなく、違ってしまった園運営に戸惑われた方もいらっしゃると思いますが、やはり「子どもたちのために」という、このことで皆さん辛抱していただけたのかなと思います。園も子どもたちのことは勿論なのですが、保護者と園が同じ方向を向いて、「子どもたちのために」ということを考えていかないといけないよということを職員会議でも話しました。また、保護者の方も園の意向を尊重して、「子どもたちのために」を考えてくださいました。園も保護者の立場に立って考えてきました。本当に皆さんに助けていただいた1年間でした。皆さんのおかげで乗り切れた1年間だったと思います。本当にありがとうございました。

## 【園長】

町職員の先生方には2年間、私たちがスムーズに引き継げるように色々と教えていただいていた大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今まで大事にされていた地域とのつながりというところを私たちも大事に引き継いでいきたいなと思っております。コロナ禍のなかでなかなか今まで通りにはいかないこともありますが、その中でもできることはないかと職員のなかで色々と話し合いながら進めています。保護者の方々も公立のときと変わらず、ご協力をしてくださりますので、本当にありがたく思っています。保護者アンケートのなかに「朝送っていくと、おはようございますと丁寧に手や足を止めてあいさつしてくださって、子どもが自ら大きな声で言えることが増えました。」と書いてくださった保護者もあって、あいさつを大切に取組んでいますので、本当にうれしく思いました。園舎についてなのですが、大規模改修工事をしていただいて園舎はとてもきれいになりました。ただ、雨が降るとすごく雨漏りがして、その度に雨漏りした廊下を掃除するために職員みんながかかっています。そういう面では負担が大きいかと思っています。遊具に関しては木製遊具がたくさんあって、すごく温もりがあって子どもたちはとても楽しく遊んでいます。ただ、長年経っているため朽ちているところもあって、その都度修理をしながら遊具を使っています。子どもたちの安全が一番ですので、安全点検をしながら、気をつけていきたいと思っています。園児数に関しては、当区の出生数が少ないため、園児数が減少していくことが予想されます。しかし、令和4年度は受託児が増えたこと、小さい年齢のお子さんを入れる方が増えたこと、当区に転入されたお子さん

があったことなどによって令和3年度と変わらない受入ができました。でも、3～5歳児に関しては令和3年度から7名の減となっていますので、園児減少の現象は見えているのかなと思っています。園児数が少ないなかで敷地がとても広いので、安全面や管理面、特に草がよく生えていて、草刈りなどで心配な状況はあります。この前、県外ですが園児が園外に出て亡くなったという事故がありました。この広い敷地でのびのび遊ばせてあげたいという思いはありますが、職員の目が届く範囲に限られてきますので、今後、安全面に配慮しながら、どのように敷地を使っていったらいいのかなということを相談していきたいと思っています。それから保護者会には本当にお世話になって、奉仕作業をしていただいているのですが、これも範囲が広くて無理が言えないところもあります。特に町道に面している土手のところも木や草が混在していて、また町の協力も得ながら管理していけたらなと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

【会長】

なかなか大変ですよ。

【委員】

今年は奉仕作業の回数を増やして対応しようと思っています。

【会長】

是非、よろしくをお願いします。

【委員】

民間に移行するというので、もっと大きく変化があるのかなと思っていたのですが、先生方にも保護者の意見を色々受け入れていただいて、聞きたくないこともあると思いますが、全く違和感なく子どもたちも通園できているので本当にありがたいなと思っています。

【会長】

これからも色々ご協力、大変かとは思いますがよろしく願いいたします。これからも順調に運営されることを願っております。ありがとうございました。

#### 5) 令和4年度からの通園バス運行について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

この件につきましてはいかがでしょうか。

【委員】

園外保育にも活用させていただいております。ありがとうございます。

【会長】

今のところ順調に進んでいるということですので、今後ともよろしく願いいたします。

6) 第2期子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しについて

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ありがとうございます。初めての方は何のことやらということもあると思うんですが、国の方から働きながらちゃんと子育てできるように場所を確保してねという命令が来ていまして、それを自治体ごとに決めてください。どのくらい希望があって、どのくらい受け入れられるのかということを書いてくださいねということがミッションですので、そのところで数に予測をつけてやっているんですけど、コロナ禍で減ったんですよ。10%以上、見込みが変わってくるということになりましたので、途中で数を変更して皆さんにこれでいいでしょうかという確認をとるということです。別に難しいことではないと思うんですけど、そういう話が途中で出ますよということです。増えて変えるのは良いんですけどね、少し寂しいなと思います。増えることを願いたいと思います。11月の3回目に皆さんにお伺いするということです。県と調整しながらということですので、途中で報告のような形になるのですね。

【事務局】

はい。

【会長】

皆さんに議論していただくようなものではありませんが、よろしくお願いします。

7) 産前産後ヘルパー派遣事業について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ベビサポですね。良いですね。「ワンコインでできる」と言えば聞こえは良いですが、「ワンコイン要るの」というとらえ方もありますかね。ニーズとかはありますか。

【委員】

お母さんからお尋ねがあったり、チラシを見られた方からお問い合わせがあったりしています。すごく関心があるなどは感じました。

【会長】

関心は高いですね。頼もうかなと思いつつも、少し気が引ける場所もあつたりして。

【委員】

同居されている方は少し抵抗があるなど。頼みたいとは思いますが。というような意見は聞きました。

【会長】

なるほど。なんで他人様にとこのような。ということですね。なりがちですね。ここに人に来てもらうの、というようなこともあるのかもしれないね。お父さん方はどうです

かね。あったら使えそうかなと思われませんか。発言はしにくいですかね。また、こういう事業がありますよと広めていただけたらと思います。

#### 8) ファミリー・サポート・センター事業の周知と会員増を図るには (その後)

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ありがとうございます。今の説明で何かお感じのことがあればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。そもそもファミサポが使われたことはありますか。

【委員】

ないです。

【会長】

ないですよ。送迎だったり、少しの時間、子どもさんを預かってもらいたいというときに会員同士で、「おねがい」「まかせて」ということになっているんですけど、あまり広がっていないと言いますか、そもそも多可町はお互い助け合っているから必要ないのではないのかなという話もあつたりしますが、そういうことではなくて制度としてシステムとして作っておきたいということで促進しているところです。できただけでも素晴らしいと思っています。地区のなかでやられていることでも制度に乗かってやっただけならば安心かなと聞いていて思いました。色々の方策を練って進めていただいているので、このまま進めていただければなと思っています。

全体の報告を通して、何かございますでしょうか。

— 特に意見なし —

#### 7. 協議事項

##### 1) 幼・小の連携をより一層すすめるために「幼保小の架け橋プログラム」について

【事務局】(別紙により説明)

【会長】

ありがとうございます。小学校に向けて民間の園さんにお任せしている状況において、小学校にうまく繋がらないではないかという懸念は少しあったのですが、それぞれの園で頑張ってくださっているところと、小学校の方があまり目や足が向かないというような話も色々なところで聞きますので、そういったところを埋めることが必要ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

【教育長】

小1プロブレムと昔から言われていますように幼保で一生懸命保育・教育された子どもたちが小学校の勉強をどんどん進めていく、成績を評価されていく、また、色々なルールがあつて、それを守ってやっていかないといけないという、そういった集団生活での育



ち方の違いということに戸惑って、なかなか馴染んでいけないということが以前から問題になっていました。国の方でもそれを重要視して、毎日どのように保育・教育を進めていくのかというカリキュラムを小学校の先生は幼稚園・保育園ではこういったことをやっていますよと、幼稚園・保育園の先生方は小学校ではこんなカリキュラムが組まれていて、こんな力が必要とされていますよと、お互いによく知ることでどうしたら段差を埋めていけるかということをお互いに今まで以上にやっていきたいなということで考えられているところです。多可町においても以前から必要性を感じておりまして、まずは私立や公立の園が以前あったときから少しずつ、統一カリキュラムというようなことを決めまして、園が違っていても、多可町内の園に通っている子どもたちは同じような内容で、同じようなことを大事にして1歳から5歳まで学びを続けていけるようにカリキュラムを作ってきたところです。そういった点からは少し進歩しているのかなと思っています。問題はその先の小学校にどんな風に繋げていくのかということをお互いに良くしていきたいという思いから、今日の協議事項にさせていただいています。今までは体験入学とかもありましたし、小学校でどのような生活をしているのかということを実際に幼保の先生方に見に来ていただいて意見交流などもしていましたが、それだけで良いのかなという思いもあって、この度の協議のご提案ということになっています。

#### 【会長】

ありがとうございます。コロナで色々できなくなってしまって、難しくなってきたなということもありまして、小学校もそれどころではないということになってるとは思うんですが、ちょっと考えないといけないなと思います。また、国が一生懸命これをやっていますので、それはそれで意味があるかなと思います。特にコロナで人との関わりが難しくなってきた子が増えてきています。小学校に行ったときにそれを克服していけるように幼児期にやったことをちゃんと引き継げるような体制づくりが必要なのではないかなと思います。結構、繋がりは消えていますか。

#### 【委員】

以前は小学校に行かせていただいたり、夏休みを利用して小学校から来てもらったりしていたんですけど、コロナ禍でそれもできなくなりました。本当は園での様子を小学校の先生方に見ていただいて話し合いができればなとすごく思っています。また、同じ小学校だけでなく、違う小学校に行くことで同じ園から行った子どもが1人や2人になったりもすることもあります。同じクラスで過ごしてきた子ども同士なら相手の気持ちが分かって、接し方も分かっていると思うんですが、違う学校に行けば周りの子どもたちもそのあたりが分からないため、行った子が不安に感じて小学校で安心して生活できないことがあれば可哀想だなと思いますので、地元の小学校だけでなく、他の小学校の先生方とも交流ができればなと思います。

#### 【会長】

先生のところは町内の色々な小学校に行かれるケースがあるんですね。加美は松井小

と杉原谷小の2校に行かれる感じですか。

【委員】

はい。

【会長】

見に来ていただいたりとかは。

【委員】

はい。最近よく声をかけていただいています。こちらとしては小学校の先生方はお忙しいだろうなと思って遠慮してしまうことがありますが、コロナが落ち着いてきた頃から声をかけていただくようになりました。また、参観日にも来てくださいよと声をかけてくださいますので、ありがたいなと思っています。何を困られていますかと尋ねると基本的な生活習慣をつけてくださいと言われる。もっともな話だと思うのですが、どこのどの部分か具体的にお話を聞く機会を持ちたいなと思っています。朝からご飯を食べていないので、授業中にお腹が空いたと言うのだとか、寝不足でボーッとしていて通学にも困っているなど具体的に伺えられればお母さんにも伝えやすいなと思います。

【会長】

そういう話がなくて、「基本的な」と言われるのですか。

【委員】

はい。コロナが落ち着いたら具体的に聞ける機会を持ちたいと思います。

【会長】

そうですね。でも、来てもらったり、声をかけてもらったりすることはあるのですね。

【委員】

はい。

【会長】

意識としては先生方もお持ちということですね。

【委員】

はい。園としては遊びのなかで子どもの自立やこういったことを育てていきたいといことがあるので、それをどうやって学校に伝えていく、スライドさせていくのかということアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを擦り合わせていかないといけないなとすごく感じています。もっともっと話し合っていける機会を持っていきたいなと思っています。

【委員】

コロナの前までは多可町幼児研修の1つとして前年度担任した先生が小学校に行って1年生の1日を見させていただく、給食も一緒に食べる、その後、担任の先生や管理職の先生と話をするというような機会がありました。また、オープンスクールにも行かせていただいて、行くと子どもたちも園の先生だと言って喜んでくれてましたし、園にいたときの姿と授業中の姿を見て、その違いを知ることもできたので、園の取組として、課題とし

て持ち帰ることもありました。逆に小学校の先生が園に来られたときにこちらが立てている指導案の主体性や子どもの探究心をどうやって満たしていけるかというようなところも姿を見ていただきながら、小学校の考え方、実践の仕方と違う、園の遊びのなかで子どもの内にある色々な能力を引き出すためにこういう環境でこういう行事、活動をしてというところが目から鱗という風に言っていただき、それでこういう姿になるんですね。うちを卒園した子どもたちは集団というよりは、それぞれが主張して、良く言えば主体性を発揮するんですが、悪く言うと集団から外れて、それぞれが勝手にしているように見えがちなんですが、そののところをこういう生活のなかでこういう力が育まれるようにと説明をすると肯定的に今の子どもの姿を見ていただいているなと思っていただけなので、今の1年生から3年生・4年生になったときの伸び代のようなものに期待が持てるのか、確かに3年生・4年生になるとリーダーシップを発揮してくれたりすることが見学に行かせてもらったときにも見えたりしたので、遊びのなかでというところと、教科のなかでというところで実践の仕方や子どもの観察の仕方の視点の違いを感じました。ただ、その子が1人の人間として自立していくために、幼児教育・学校教育が共通して関わっていったらいいなと思います。

**【会長】**

結構、見方の違いというか、そういったことはありますね。そこについては小学校の先生にも学んでいただいて、私たち幼児の方も小学校のことも知っておかないといけないと思うので。

**【委員】**

一日でも収穫はあると思うんですが、なかなか難しいところもあります。コロナの状況でいきなり発展的なところへ飛び越えることは難しいので、徐々に接点をつくって交流や架け橋になるようなことができたらいいなと思います。ただ、毎日時間に追われるなかで実際にそのような時間を作ることが難しかったりもします。

**【会長】**

以前やられてたことで収穫があったという経験がおありなので、少しずつ元に戻しつつ、一足飛びに大層なことをすることはないんですけど、そんなことは必要かなと思います。ありがとうございました。

**【委員】**

やっぱりコロナになるまでは、入学体験みたいなことをやらしていただいていた、5歳児の子どもが小学校に行って、授業を見させていただいたり、一緒に遊ぶ機会をつくっていただいたりして、学校に慣れる機会を設けていただいていた。逆に小学生の子ども園に来てくれて、成長を見られて懐かしい思いをしておりました。そういった交流はできていたと思います。ただ、コロナになるとそういったことができなくなって、それでも子どもたちがいきなり小学校に行くことは少しハードルが高いのかなということがあって、昨年度も小学校に連絡して校庭を使わせてもらったり、体育館を見させてもらったりし

ました。また、途中まではバスで行くのですが、近くからは通学をイメージして歩いて小学校まで行きました。小学校の先生もすごく快く受け入れてくださって、少し離れてではありましたが小学生の子が体操をしている姿も見せてくださりました。その前の年も何か交流できないかなということをお願いすると、1年生の子が外に出て来てくれて外での交流をしてくださいました。子どもたちにとって小学校のことが少し分かることができて良かったなと思いました。ただ、小学校に入ると園での生活と1年生の生活はゴロッと変わるので、たぶん戸惑いがあると思うので、こども園でしている主体性というところ、主体性を持って遊んでいく、自分の思いを出しながら、それを受け止めてもらいながらということと、小学校に行ったら45分間座るということが、うまく連携が取れて、急にしんどくなるというよりも、幼稚園でしていることが少し引き継がれて、1年生の間は先生と私たちとの交流がうまくできて、子どもたちがスムーズに小学校に上がることできたらいいなと思います。

#### 【会長】

ありがとうございます。クラスがそのまま小学校に上がっていけることは少し楽かなと思いますが、それでもギャップがありそうな感じですね。小学校の先生にこども園でやっていたことをもう少し取り入れてやってよってお願いしたいですね。そっちの方が先ですかね。場所に慣れることは1回か2回行けばいいかなと思いますが、それよりそれぞれの見方を揃えるとかですね、少し方法を変えていくというようなスタートのところですね。

#### 【委員】

皆さんも言われたことで、ここ2年間何もできなかったもので、寂しく感じています。小学校に行くことで知ることたくさんありましたし、そこから園のなかで活用することもたくさんあったりしました。お互いを知る機会もうまく持てなかったもので、残念だったなと思います。もうそろそろ、それもできるのかなと思っています。もう1つ思うことは子ども自身のこともそうなのですが、保護者へのアプローチの仕方といいますか、我々は赤ちゃんのときから預かっていますので、全てのことを保護者に伝えないというところからスタートしています。逆に小学校から見れば「そこまで伝えているの」、「そこまでする必要があるので」と思われるところまでしているのかもしれない。こども園では全てのことを園から直接、保護者にお伝えしていることに対して、小学校になると子どもから保護者に伝わるようになり、保護者も戸惑われるのかなと思います。そのあたりもうまく擦りつけていかないと、結果、子どもがうまく馴染んでいけるかということに繋がりますので、そういったことも必要かなと思います。鈴木先生はよくご存じかとは思いますが、加古川市は中学校区を対象に幼保から中学校までの先生が集まって意見交換する会を早くからお持ちですね。そういったところも見せていただきながら、これから進めていく必要があるかなと思います。

【会長】

ありがとうございました。中学校区、結構ありまして三田市もやっています。中学校の校長先生、小学校の校長先生、幼稚園・保育園の園長先生などが集まって交流されています。研究についても加古川の方は進んでいますね。この前も「鉛筆の持ち方どうしましょう。」とか「字はどこまでやっておきましょう。」とか意見交換があったんですが、小学校の先生は「持ち方だけやってください。」という要求があったりしました。交流をやりながらすることで具体的に出てくるので、そこまで繋がりができるといいかなと思うんですけど、先生が言われた保護者へのアプローチについて、小学生のお子さんをお持ちの委員さんはどうですかね。小学校に行かれてからの違いなどについては。

【委員】

上の子はスムーズに行きました。下の子はちょうどコロナと入学時期が重なり、入学式してすぐに1ヶ月休校になりました。それは仕方なかったと思います。2人とも園の仲が良かった友達たちと小学校に進めたので、生活面に関して特に不安はありませんでした。ただ、下の子の学習面では心配もありました。学校に行けなかったのも、それぐらいで、特に不安や不満はありません。

【会長】

こども園時代にちゃんと友達と繋がっていたということは大きいですね。

【委員】

そうですね。他の保護者の顔もよく見えていましたし、特に心配することはなかったです。

【会長】

それは大事ですね。ありがとうございます。

【委員】

うちも小学生が2人いますが、特に2人とも問題もなく、スムーズに移行できたと思っています。地域としてもコミュニティが狭く、隣近所顔見知りなので、1つ上のお姉ちゃんが一緒に行こうと声をかけてくれたりして、学年が違ってても仲良くいれると思います。こども園でも学年を越えて遊んでいたのも、あまりアウェイ感がないというか、こども園の延長でそのまま小学校に上がるようにスムーズな感じで入学できたと思っています。

【会長】

ありがとうございます。いいですね。アウェイ感がないというのは、すごく大事なことですよね。

【委員】

うちもこども園のまま、小学校に行くという感じでしたので生活面に関してはスムーズにいったかなと思う反面、勉強ですかね。特に宿題、そういう習慣がなかった分、そこで苦労しているかなとは感じました。でも、1番に生活面で支障なくできたということは親として安心できたところですので、そこは良かったかなと思います。

## 【会長】

ありがとうございます。私も色々なところに行ってますけど、これだけ安心感の盤石なところってなかなかないので、そこは本当に良いかなと思います。小学校の先生にもまずはそこからとお願いはするんですが、あまり心配なさそうですね。あとは勉強の話とか、どんな力をつけていくために見方が合うかどうかなどについて一貫性が取れるかというところなので、本当、これは大人の話で。子どもさんたちは元気に行けているようなので。昔は交流がよくあって、小学校にどれだけ行くかということがあったのですが、1回か2回は行って体験した方がいいのでしょうか、あまりそこに力を入れるというよりは、保育士と小学校の先生の間繋がりといえますか、見方・考え方、それと方向の繋がりということを考えていただくことが必要かと考えます。西脇市が今、カリキュラム作りを始めたところでして、校長会が入って、園の先生が入って、この前第1回目があったところでして、お互いの授業を参観しながら少しずつ理解を深めていって、こういう方針でということをして2年かけてやろうとしていますので、そういうようなことができるようになったらいいかなと思います。事務局の方で少し検討していただいて、そういったことを進めていけたらうれしいと思います。この手引きを読むだけでも、結構なボリュームがありますので。これを全て理解して実践できたら、まあ大丈夫かなという感じなんですけども、半分は小学校ですのでね。小学校が半分と園の方が半分くらいになってます。あと色々入っていますね。資質能力を育てるということで、子どもたちの姿と資質能力を近づけていくというところがあって。参考資料があってですね、ICTなんかも入れてはどうかということもありましてね。コロナでできなかったところをICTでカバーするといったことも載っています。コロナで全員が買い物に行けないので、代表だけが買い物に行き、それをオンラインで繋げて、家に残っている人が計算をして、買っている人にもう少し安いエンジンはないかといったようなことをやってみるとかですね。カメはどこに住みたいのか、カメの冬眠する場所をみんなでiPadで撮って、プレゼンしてここで寝かすのがいいんじゃないかとか、そんなことをやっていますね。多可町として、地域として育てるといったところがあって、先ほどの話にもあったように、みんな顔見知りだから小学校に行っても全然違和感はないというようなところはすごいメリットだと思うんですけど、そこを支えていただきながら、進めていこうかなと思います。そこで地域でどんな子を育てたいとか、どんなサポートができるかなというようなところ。ちょうどSDGsでパートナーシップで目標を達成しようという17個目にすごく難しい項目ですけど。そこを地域の方からご提言いただければと思いますが。

## 【委員】

今回、初めて参加させてもらって、子育て・孫育ても終わり、現状はよく分かりませんが、今日の会議を聞かせていただいて思ったことは、小学校の先生とこども園の先生とが同じ場所で話し合うような会はあるのでしょうか。

【会長】

それが今ないんですよ。

【事務局】

はい。

【委員】

その方が大事なかなと思って。私たちや校長先生だけでは話にならないのではないかと思います。それともう1つ、民生委員さんは高齢者だけのことだと思ってましたが、民生委員、児童委員は一緒だということが村の役員になって初めて分かりました。そういう人が他にもたくさんおられるのではないかなと思って。だから高齢者の相談は民生委員に相談して、民生委員も高齢者を見守っていると。子育て世代から民生委員さんに相談はたぶんないと思うし、民生委員さんもそういうところはあまり見守っておられないのかなと思っておりました。その辺の周知もあまりないのではないのかなと思ったんですが。

【会長】

ありがとうございます。さっきも言いましたようにパートナーシップが大事なので。そうですね、民生委員さんと言えばやっぱりお年寄り家庭の見守りというイメージですかね。今まででしたら、園の先生に任せればいいんだというような雰囲気がありました。

【委員】

子どものことは教育委員会や学校の先生に任せておけばいいんだと思っている村も多いと思います。実際のところ村として子供会の人数は把握していますが、それより下の人数は村として把握できていません。去年ぐらいからお祭りの関係で、太鼓に乗る子や舞を踊る子がこれから何人ぐらいいるのか分からないということで、村として調べています。ですから、小さい子どもの人数を把握されていない村も多いのではないかなと。

【会長】

その辺からちょっと。先ほどのファミサポだとか、そういったシステムがこれからできてくると思うんですが、それよりも以前からある地域の繋がりといったものとうまくパートナーシップがとれるように相談するシステムができたらなと思いました。本当に貴重なご意見ありがとうございました。多可町の良いところというと、本当に地域が密着していて、繋がっていて、お互い同士が顔を知っていて、どこに行っても安心していうところだと思います。その良さを保ったまま、システムとして必要なところもありますので、うまく掛け合わせていけたらなと思います。それから現場の小学校の先生方と園の担任されている先生方がこれからどうするかという、実務レベルで話し合いをするといったシステムが必要だというご提言もいただきましたので、教育委員会の方で計画していただけたらと思います。

【事務局】

先ほど、貴重なご意見ありがとうございました。民生委員さん、児童委員さんにおかれましては、保育の事由証明書を民生委員さんにもらいに行かれています。そうい

うところで民生委員さんは大きな役割を担っていただいております。子育て・児童館運営委員会でも民生児童委員さんにご参加いただいているといったところもありますので、子育てにも大きく関わっていただいております。地域との繋がりとして大きく関わっていただくが増えております。子ども・子育て会議に民生児童委員代表として参加いただいております委員さんも民生児童委員会で年間の活動報告も行っていただいておりますので、今までは言われていたように高齢者の方と関わりが多かったとは思いますが、今後は今まで以上に子育て世代に関しましても大きな役割を担っていただくこととなりますので、ご理解いただきたいと思っております。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。今後、教育委員会の方には具体的は方策を検討いただきたいと思っております。パートナーシップということで保護者の皆様にもご協力いただきながら、地域の方と連携しながら子どもたちをしっかりと育てていきたいと思っておりますので、またご意見等をいただきますようお願いいたします。こんなところで今日の協議は終わりたいと思っておりますが、何か最後にお話がありましたお伺いいたしますが。

8. その他

1) 次回の会議開催予定 第27回子ども・子育て会議

日 時 令和4年9月26日(月) 15:00から予定  
場 所 多可町役場3階 特別会議室

9. 閉会

**【副会長】**

本日は本当にご苦勞様でした。本当に中身のこもった話ができたとお思いました。また、次回もよろしくお願ひします。